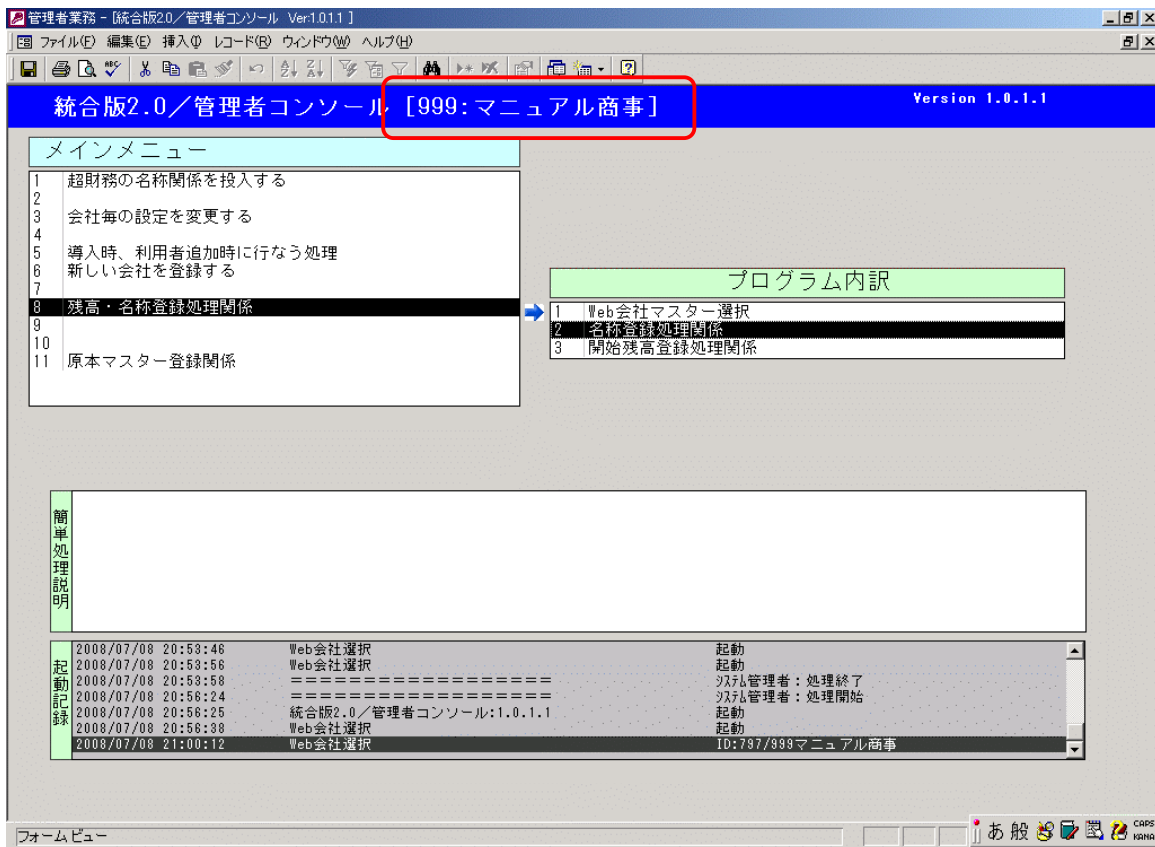


3. 会社マスターが選択され、メニュー画面に戻ります。
『管理者コンソール』のタイトルの右側に選択された会社マスターが表示されているのを確認してください。



4-19.名称登録処理関係

名称登録処理関係は、科目名称、枝番名称、部門名称、プロジェクト名称、課税判定テーブルの登録処理を行なう業務です。

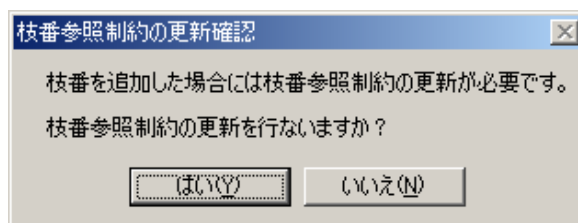
ICST超財務SUPER Aには、参照制約という機能があり、名称登録を行なった際には参照制約の自動更新機能が働きます。それぞれの登録プログラム終了時には、下記の表示があります。

新しい科目、枝番、部門、プロジェクトを登録した場合には終了時参照制約の更新を行なってください。

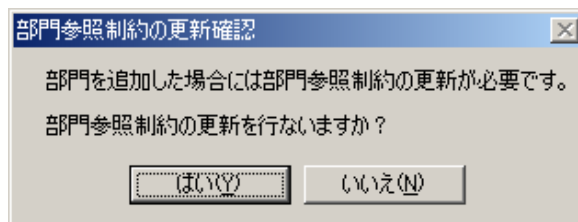
科目名称登録



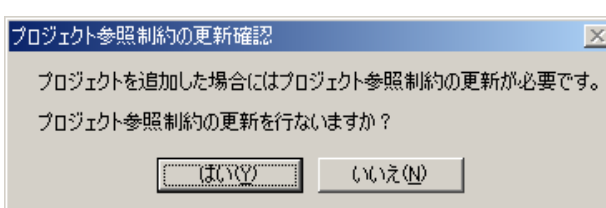
枝番名称登録



部門名称登録



プロジェクト名称登録

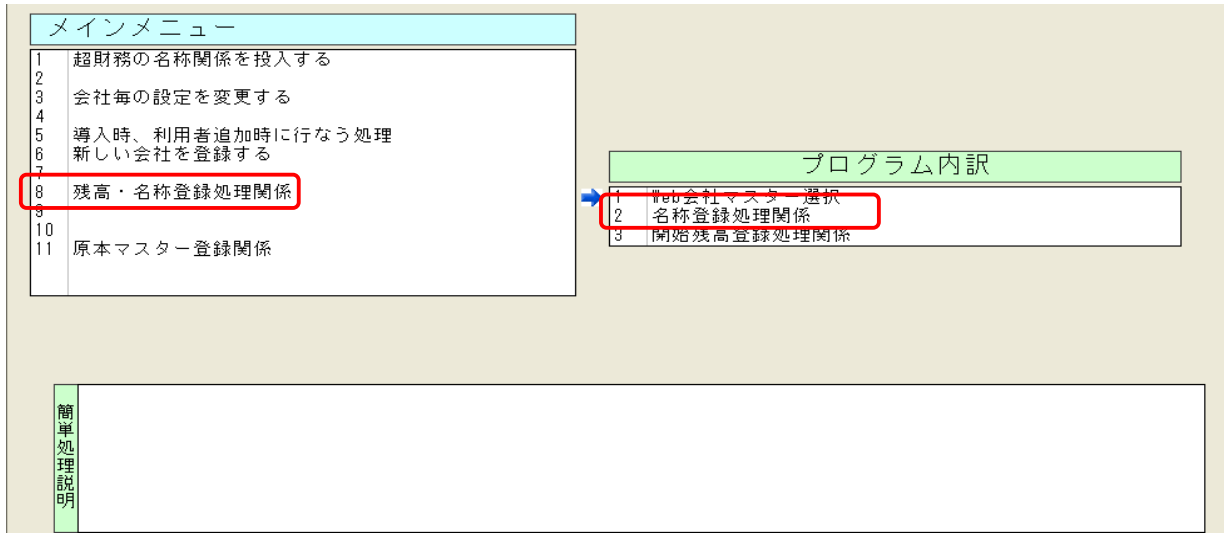


参照制約自動更新処理の仕組み

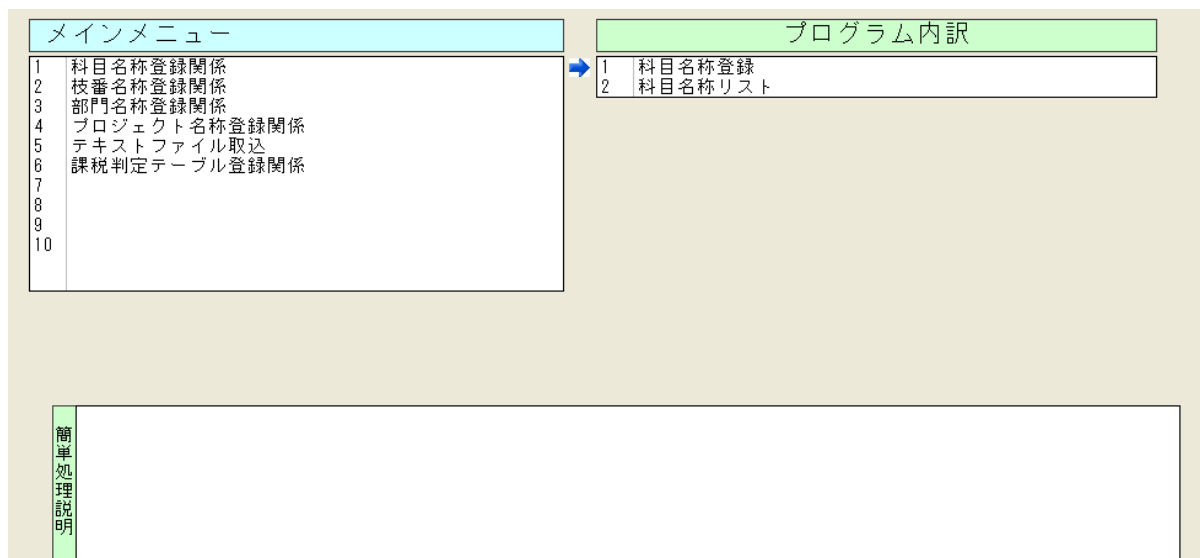
参照制約の登録は、科目、枝番、部門、プロジェクトコードの自動更新パターン登録により、新規名称関係登録時に参照制約が自動更新されます。参照制約定義登録で自動登録パターンを登録しておらず、個別に参照許可コードを登録している場合には、参照制約の自動更新はかかりませんのでご注意ください。

操作手順

1. メインメニュー 『8.残高・名称登録処理関係』の中の
プログラム内訳 『2.名称登録処理関係』をダブルクリックします。



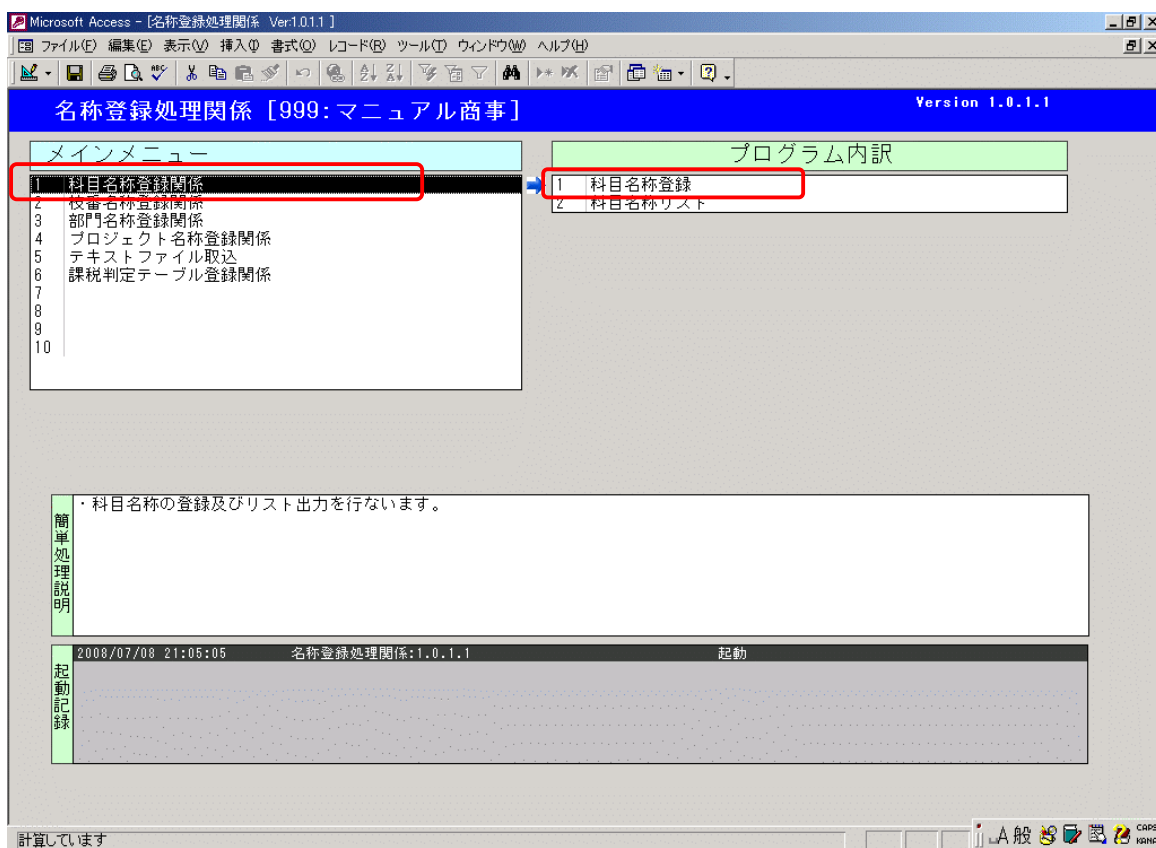
2. 名称登録のサブプログラムが起動して下図のメニュー画面が表示されます。
メニュー画面の起動にしばらく時間がかかります。



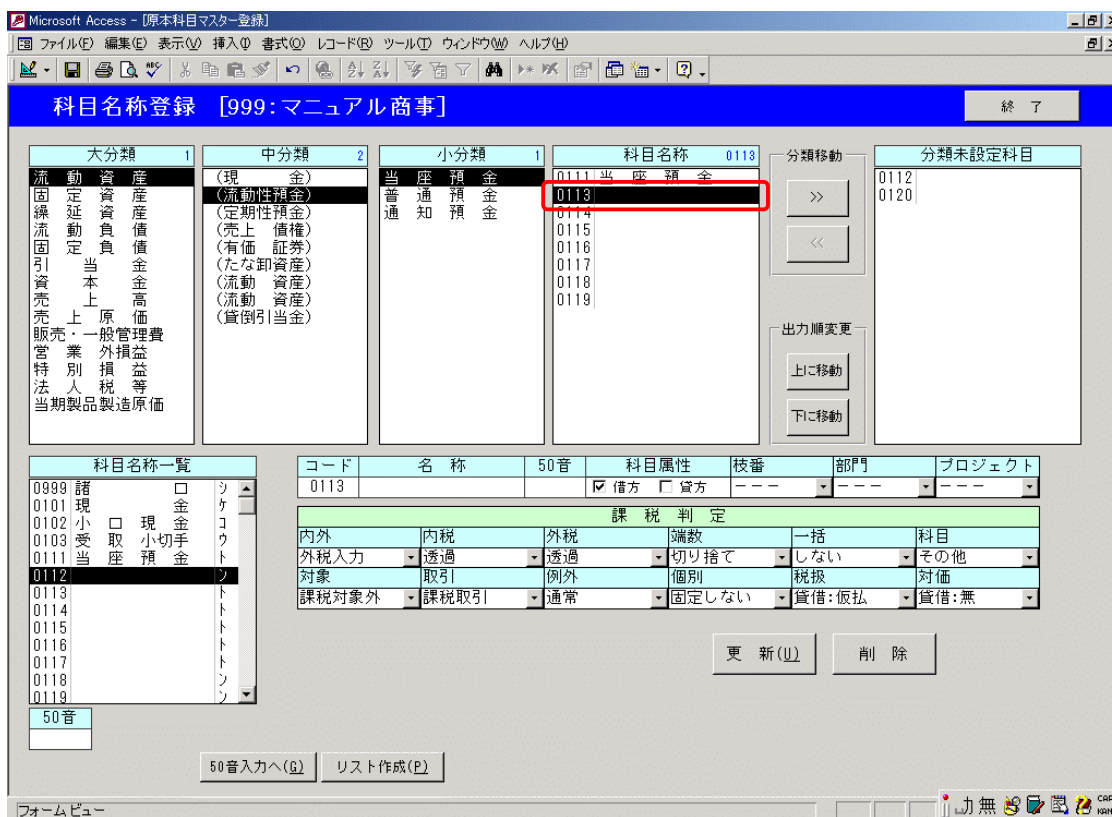
科目名称登録

操作手順

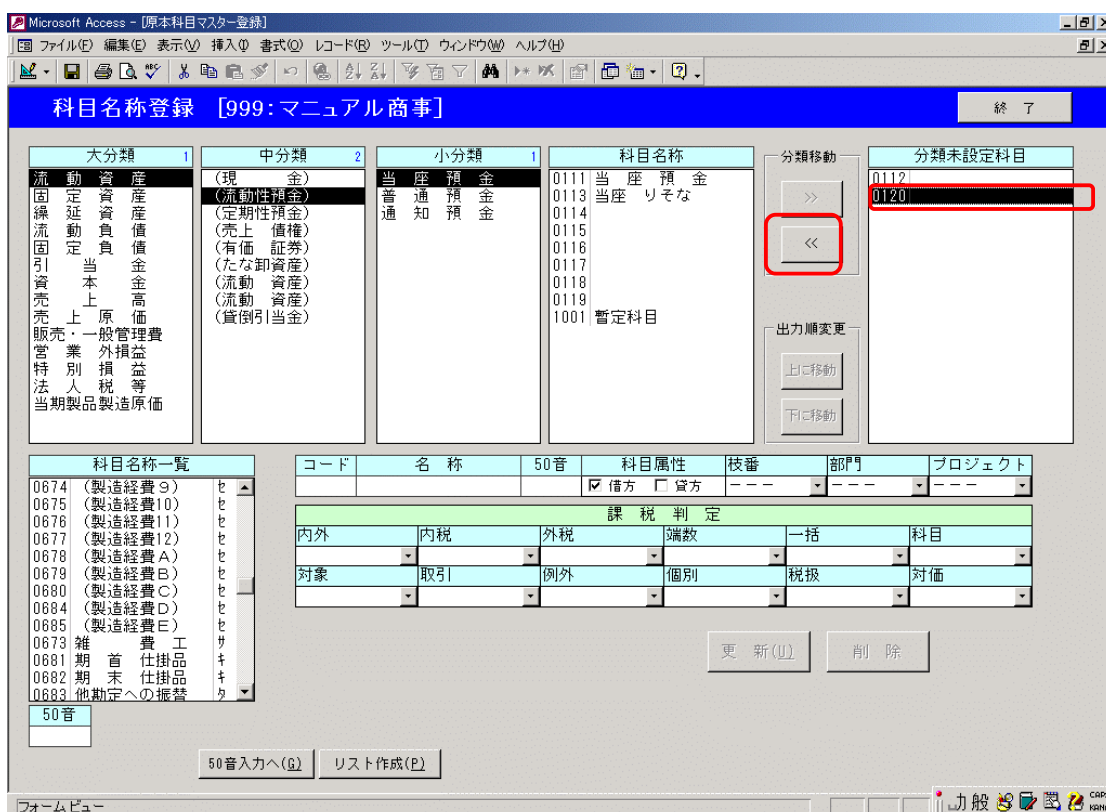
1. メインメニューの『1.科目名称登録関係』をクリックして、『1.科目名称登録』をダブルクリックします。



- 登録したい分類に科目名称が入っていない科目コードがあればクリックし、名称・50音・科目属性等必要な箇所を入力後、『更新』ボタンをクリックして下さい。



- 分類未設定科目があれば、クリックで選択し、挿入したい小分類を選んだ後、『<<』ボタンをクリックして科目名称欄に挿入し、その後は手順2と同様に、名称・50音・科目属性等必要な箇所を入力後、『更新』ボタンをクリックして下さい。



Microsoft Access - [原本科目マスター登録]

科目名称登録 [999: マニュアル商事] 終了

大分類	中分類	小分類	科目名称	分類移動	分類未設定科目
流動資産	(現金)	当座預金	0111 当座預金	>>	0112
固定資産	(流動性預金)	普通預金	0113 当座リそな	<<	
繰延資産	(定期性預金)	通知預金	0114		
流動負債	(売上債権)		0115		
固定負債	(有価証券)		0116		
引当金	(たな卸資産)		0117		
資本	(流動資産)		0118		
売上高	(流動資産)		0118		
売上原価	(貸倒引当金)		0120		
販売一般管理費			1001 暫定科目		
営業外損益					
特別損益					
法人税等					
当期製品製造原価					

科目名称一覧	コード	名称	50音	科目属性	技番	部門	プロジェクト
0674 (製造経費9)				<input checked="" type="checkbox"/> 借方 <input type="checkbox"/> 貸方	---	---	---
0675 (製造経費10)							
0676 (製造経費11)							
0677 (製造経費12)							
0678 (製造経費A)							
0679 (製造経費B)							
0680 (製造経費C)							
0684 (製造経費D)							
0685 (製造経費E)							
0673 雑費工							
0681 期首仕掛品							
0682 期末仕掛品							
0683 他勘定への振替							
50音							

課税判定					
内外	内税	外税	端数	一括	科目
対象	取引	例外	個別	税扱	対価

更新(U) 削除

50音入力へ(G) リスト作成(P)

新規科目登録時の手順)

- 大分類を選択します。
 - 中分類を選択します。
 - 小分類を選択します。
 - 科目コードを入力します。登録済みの場合には該当科目が呼び出されます。使用していないコードを入力すると新規登録になります。
 - 科目名称～課税判定情報まで入力します。
 - 試算表の印字位置を変更する場合には、追加した科目を選択します。
 - 出力順変更処理:上に移動、下に移動で選択した科目を上下移動します。
- 更新ボタンをクリックすると保存されます。

4. 『リスト作成』 『出力』 をクリックしていきますと、科目名称リストが印刷出来ます。

科目名称登録 [999:マニュアル商事]

科目名称リスト [999:マニュアル商事]

出力

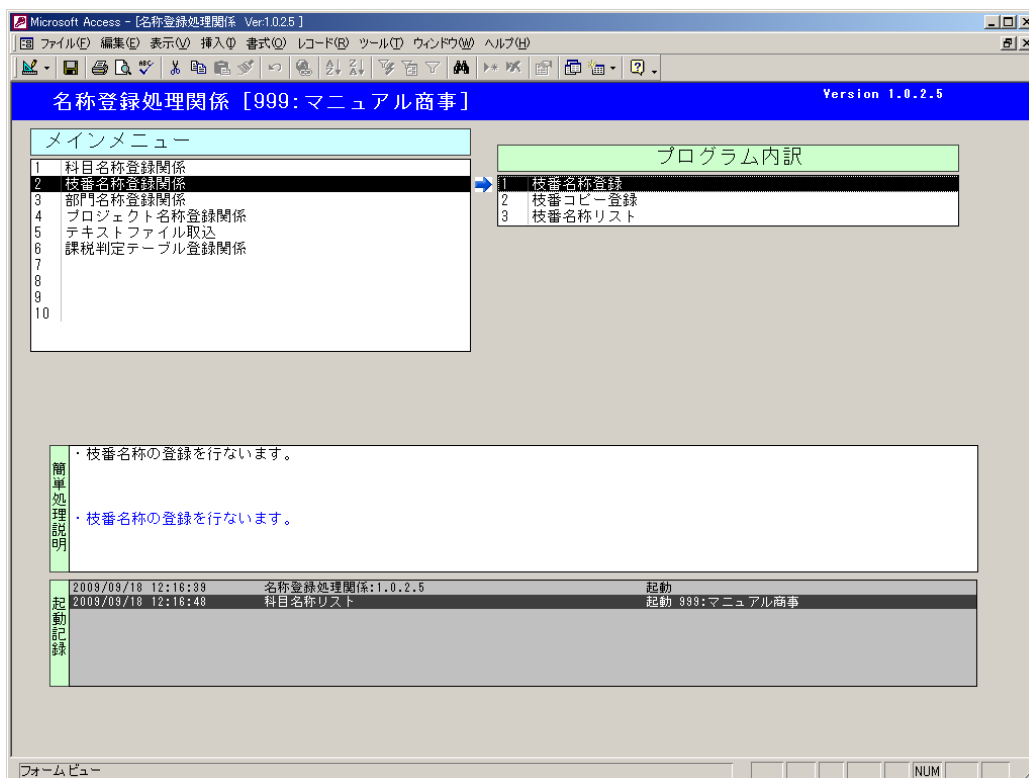
CSV出力

科目名称リスト [999:マニュアル商事]

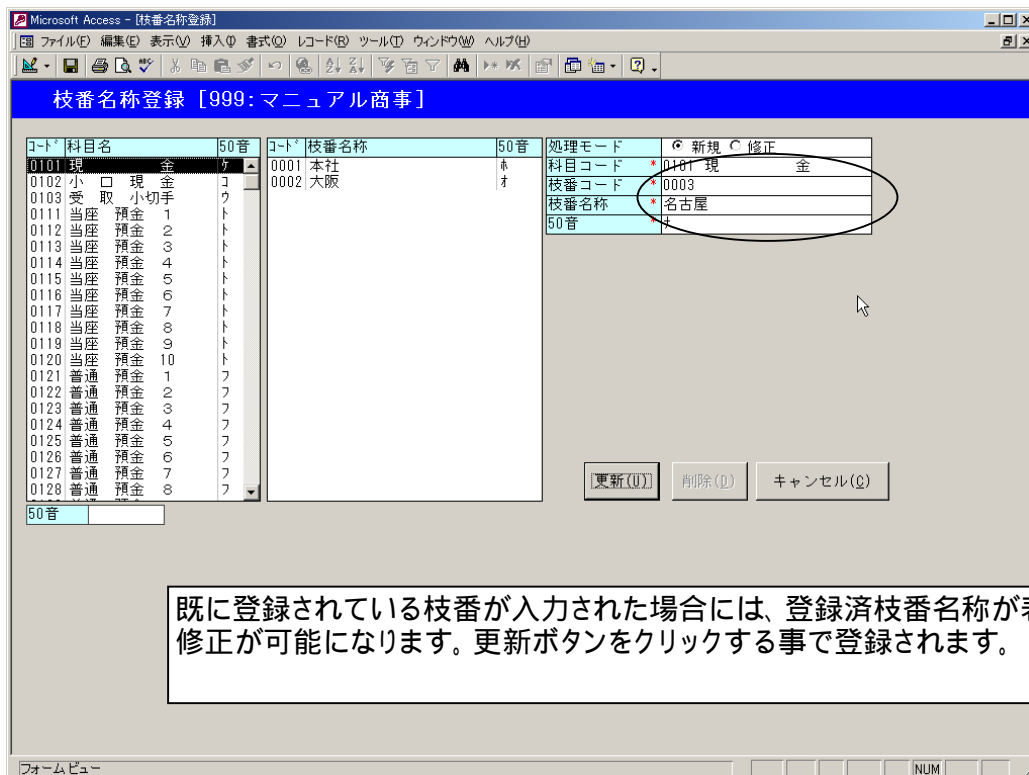
大分類	中分類	小分類	コード	科目名称	50音	属性	必須不可
流動資産	(現金)	現金	0101	現金	カ	借方	- - 必
			0102	小口現金	コ	借方	- - 不
			0103	受取小切手	ウ	借方	- - 不
	(流動性預金)	当座預金	0111	当座預金 1	ト	借方	- - 不
			0112	当座預金 2	ト	借方	- - 不
			0114	当座預金 4	ト	借方	- - 不
			0116	当座預金 6	ト	借方	- - 不
			0113	当座預金 3	ト	借方	- - 不
			0119	当座預金 9	ト	借方	- - 不
			0117	当座預金 7	ト	借方	- - 不
			0120	当座預金 10	ト	借方	- - 不
			0118	当座預金 8	ト	借方	- - 不
			0115	当座預金 5	ト	借方	- - 不
		普通預金	0121	普通預金 1	フ	借方	- - 不
			0122	普通預金 2	フ	借方	- - 不
			0123	普通預金 3	フ	借方	- - 不
			0124	普通預金 4	フ	借方	- - 不
			0125	普通預金 5	フ	借方	- - 不
			0126	普通預金 6	フ	借方	- - 不
			0127	普通預金 7	フ	借方	- - 不
			0128	普通預金 8	フ	借方	- - 不
			0129	普通預金 9	フ	借方	- - 不
			0130	普通預金 10	フ	借方	- - 不
		通知預金	0131	通知預金 1	ウ	借方	- - 不
			0132	通知預金 2	ウ	借方	- - 不
			0133	通知預金 3	ウ	借方	- - 不
			0134	通知預金 4	ウ	借方	- - 不
			0135	通知預金 5	ウ	借方	- - 不

枝番名称登録

1. メインメニューの『2.枝番名称登録関係』をクリックして、『1.枝番名称登録』をダブルクリックします。



2. 科目を選択すると該当科目の登録済み枝番が表示されます。新規枝番を登録する場合には、新規の枝番コード・名称・50音を入力し、更新ボタンをクリックします。



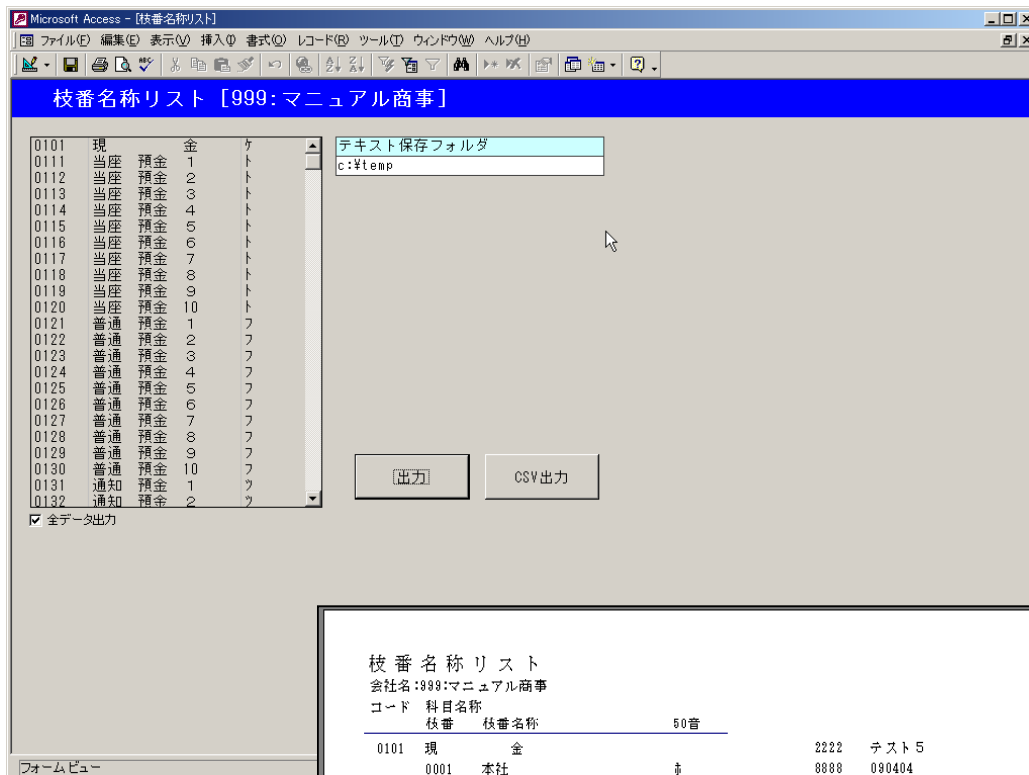
枝番コピー登録

1. プログラム内訳より枝番コピー登録を選択すると枝番コピー登録画面が表示されます。この処理は、他の科目に登録されている枝番を選択して、異なる科目にコピーする処理です。同一の枝番コードを使用している複数科目がある場合には、コピー登録を行なう事で登録作業が簡素化できます。

2. コピー元となる科目を選択し、登録済み枝番を表示します。コピーする枝番を選択した後、コピー先の科目を選択します。コピーする枝番は複数選択可能です。またコピー先の科目も複数選択可能です。

枝番名称リスト

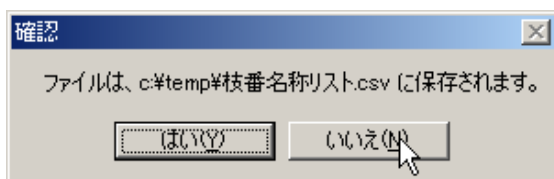
プログラム内訳より枝番名称リストを選択すると下記の画面が表示されます。
 特定の科目の枝番名称リストを出力する場合には、科目一覧の下の全データ出力の
 チェックを外し、科目を選択して出力を行います。



枝番名称リスト
 会社名:999:マニュアル商事
 コード 科目名称

枝番	枝番名称	50音			
0101	現 金		2222	テスト5	テ
0001	本社	ホ	8888	090404	ア
0002	大阪	オ	9999	テスト	テ
0111	当座 預金 1		0117	当座 預金 7	
0001	三井住友	ミ	0001	三井住友	ミ
0003	テスト	テスト	0003	テスト	テスト
0210	三井住友	ミツイ	0210	三井住友	ミツイ
1023	1 0 2 3	ア	1023	1 0 2 3	ア
2222	テスト5	テ	2222	テスト5	テ
8888	090404	ア	8888	090404	ア
9999	テスト	テ	9999	テスト	テ
0112	当座 預金 2				
0001	三井住友	ミ			
0003	テスト	テスト			
0210	三井住友	ミツイ			
1023	1 0 2 3	ア			
8888	090404	ア			
9999	テスト	テ			
0113	当座 預金 3				
0001	三井住友	ミ			
0003	テスト	テスト			
0210	三井住友	ミツイ			
1023	1 0 2 3	ア			
2222	テスト5	テ			
8888	090404	ア			
9999	テスト	テ			

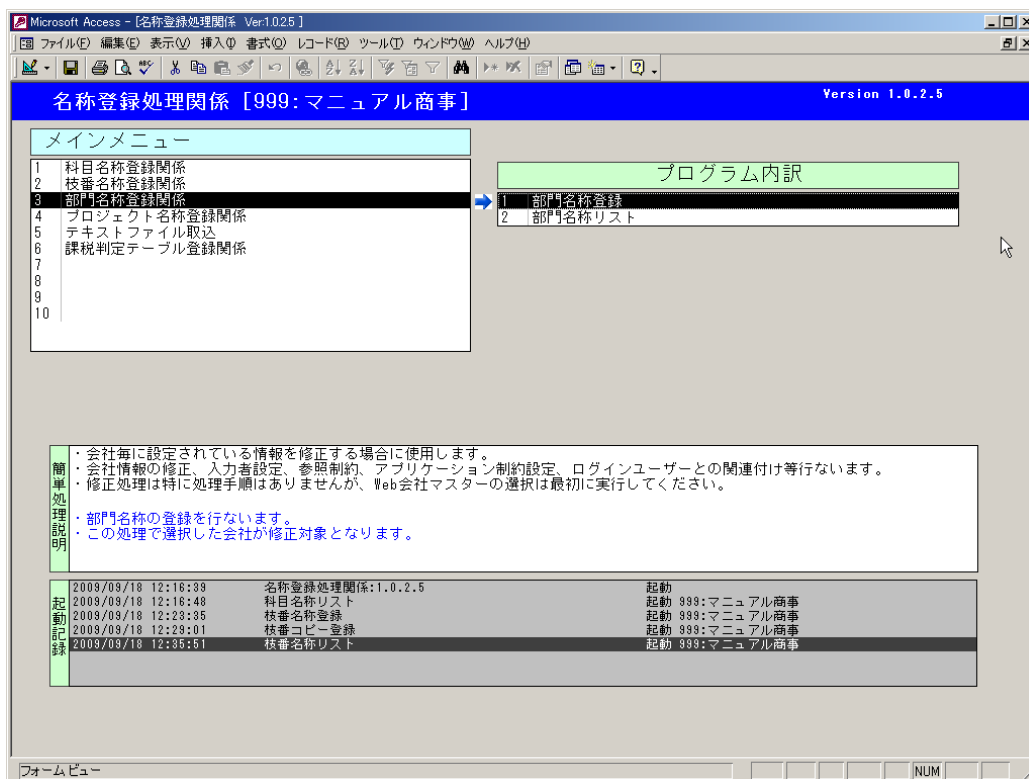
CSV出力ボタンをクリックすると、テキスト保存フォルダ欄に指定したフォルダに



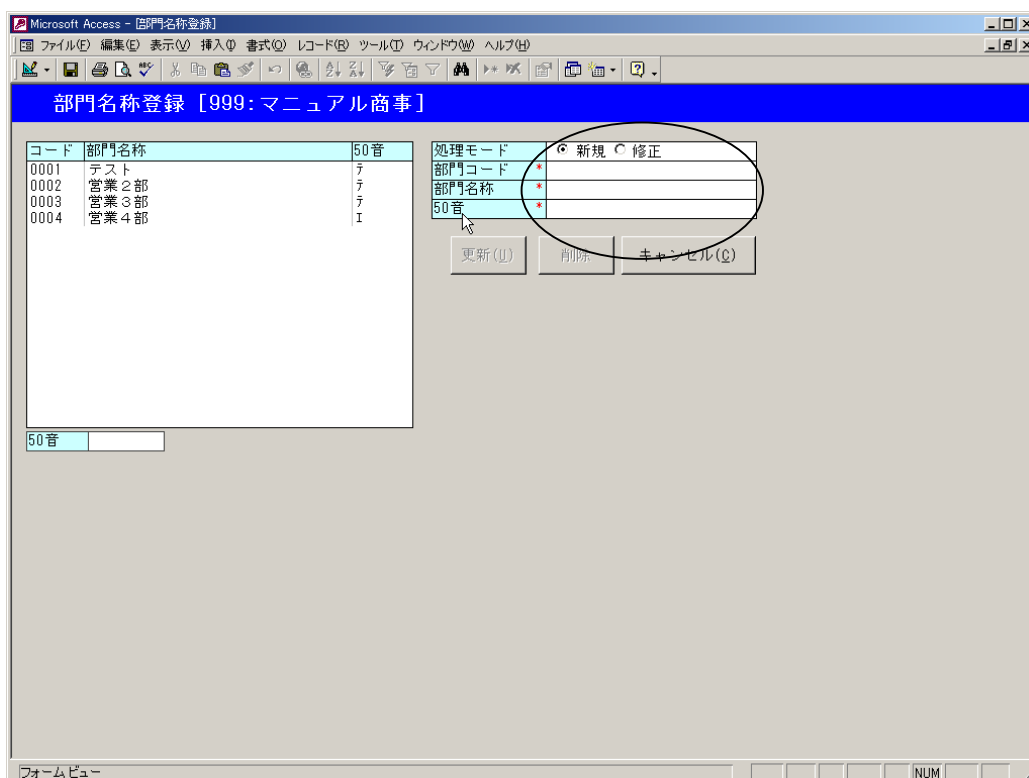
枝番名称CSVファイルが保存されます。

部門名称登録

メインメニューの『3.部門名称登録関係』をクリックして、『1.部門名称登録』をダブルクリックします。



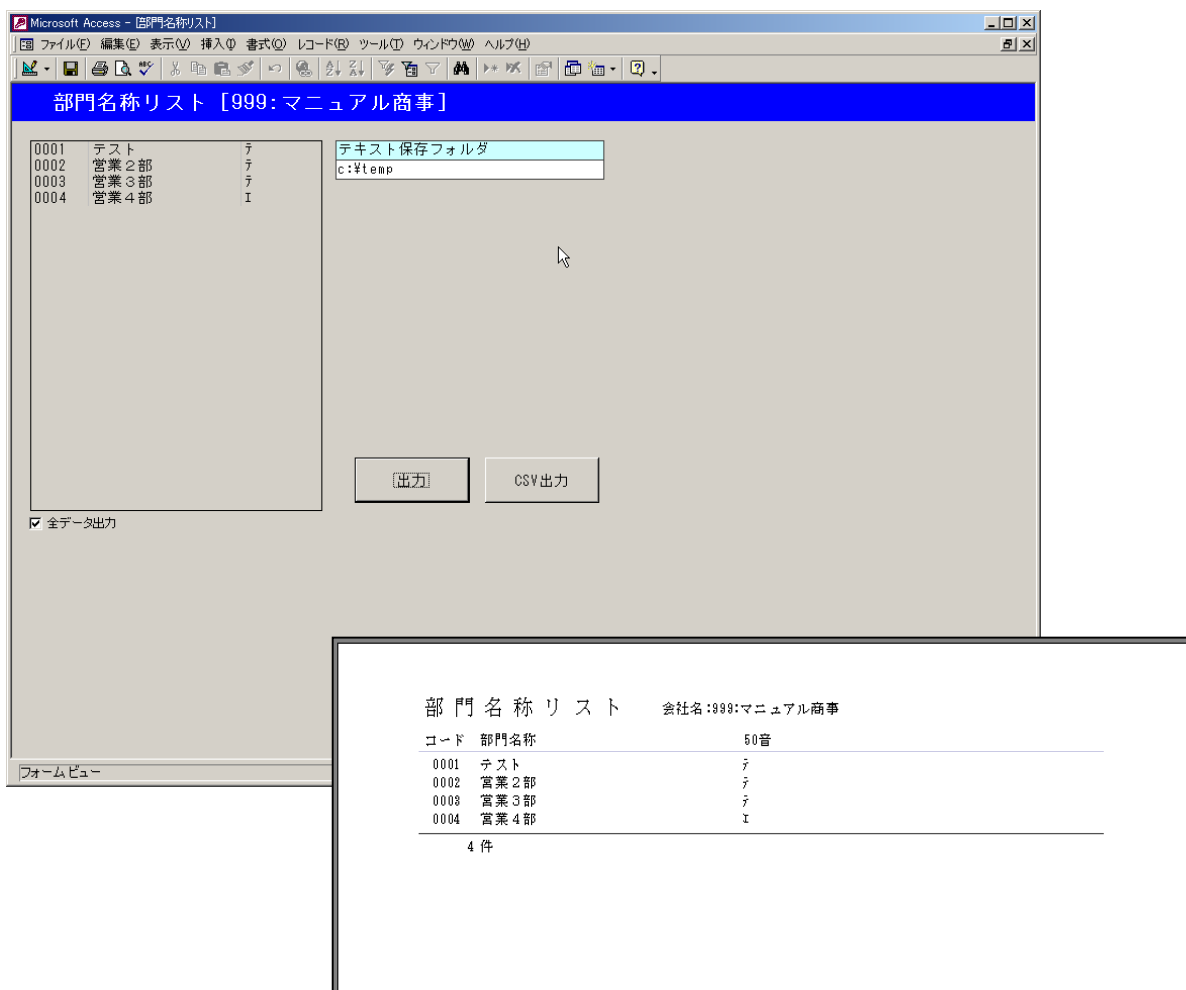
登録済み部門一覧が表示されます。修正を行なう場合にはリストより選択して呼び出します。新規部門を登録する場合には、部門コードから順に名称、50音と入力します。既に登録されているコードを入力した場合には、登録済みデータが呼び出され修正が可能になります。



入力が終了しましたら更新ボタンをクリックして保存します。

部門名称リスト

プログラム内訳より部門名称リストを選択すると下記の画面が表示されます。
特定の部門名称リストを出力する場合には、部門一覧の下の全データ出力の
チェックを外し、出力する部門を選択して出力を行います。



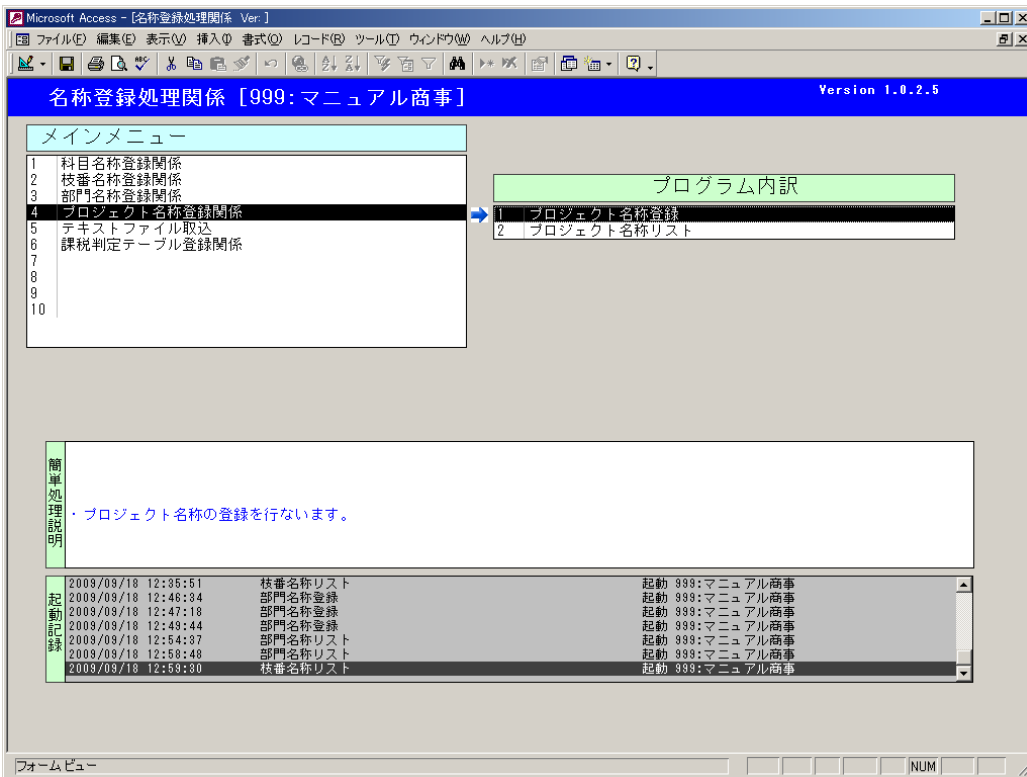
CSV出力ボタンをクリックすると、テキスト保存フォルダ欄に指定したフォルダに



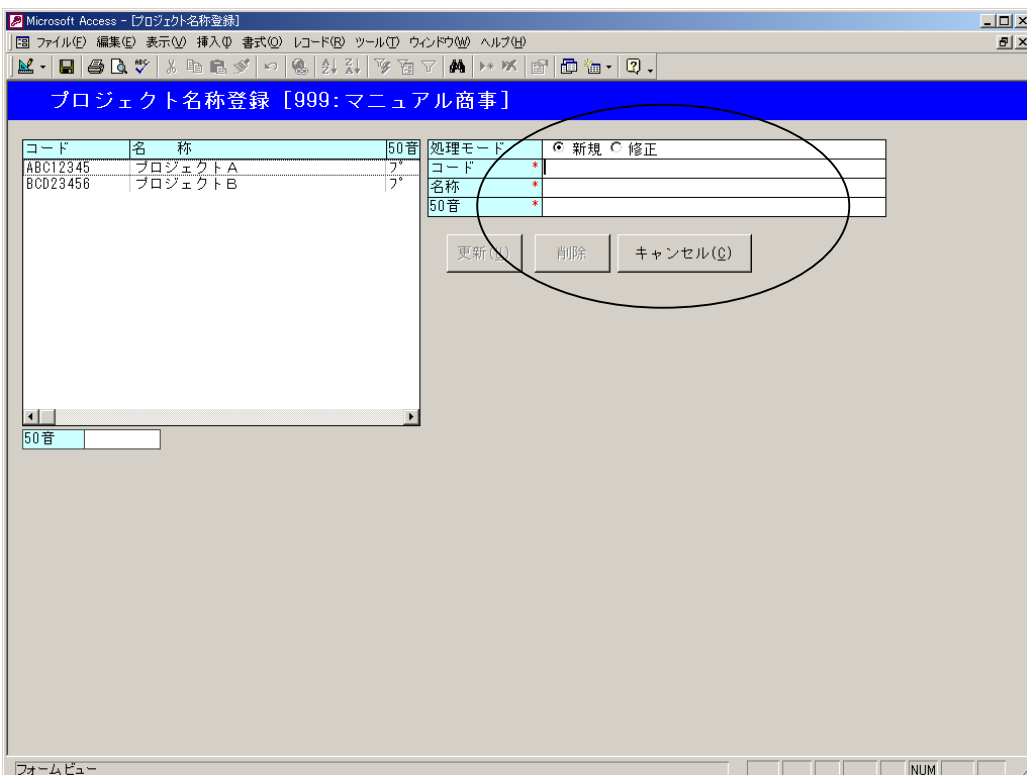
部門名称CSVファイルが保存されます。

プロジェクト名称登録

メインメニューの『4.プロジェクト名称登録関係』をクリックして、『1.プロジェクト名称登録』をダブルクリックします。



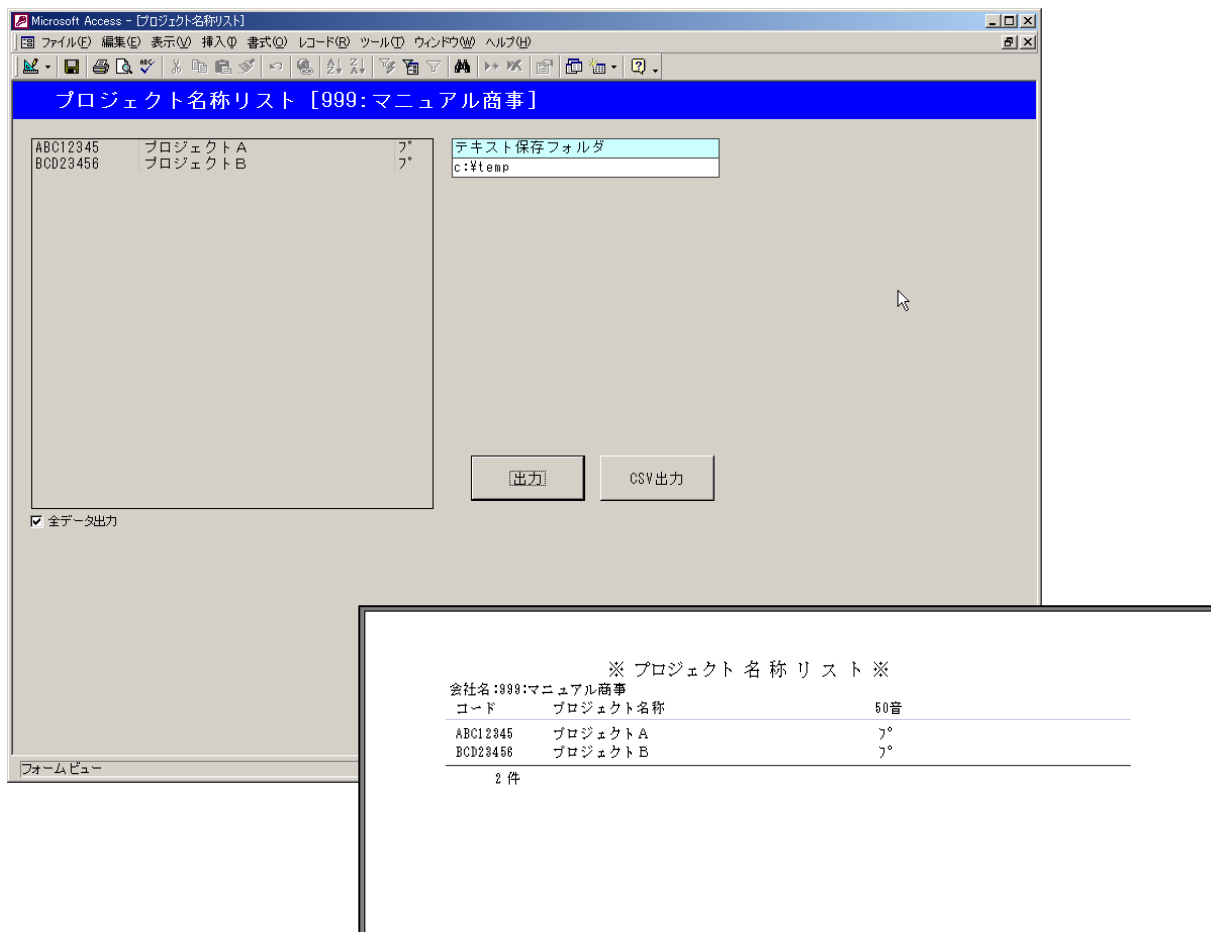
登録済みプロジェクト一覧が表示されます。修正を行なう場合にはリストより選択して呼び出します。新規プロジェクトを登録する場合には、プロジェクトコードから順に名称、50音と入力します。既に登録されているコードを入力した場合には、登録済みデータが呼び出され修正が可能になります。



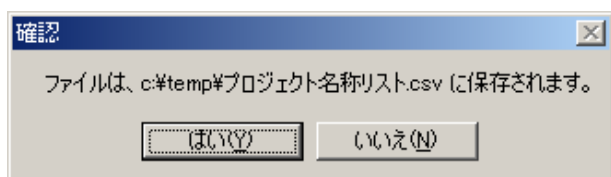
入力が終了しましたら更新ボタンをクリックして保存します。

プロジェクト名称リスト

プログラム内訳よりプロジェクト名称リストを選択すると下記の画面が表示されます。
 特定のプロジェクト名称リストを出力する場合には、プロジェクト一覧の下の全データ出力の
 チェックを外し、出力する部門を選択して出力を行います。



CSV出力ボタンをクリックすると、テキスト保存フォルダ欄に指定したフォルダに

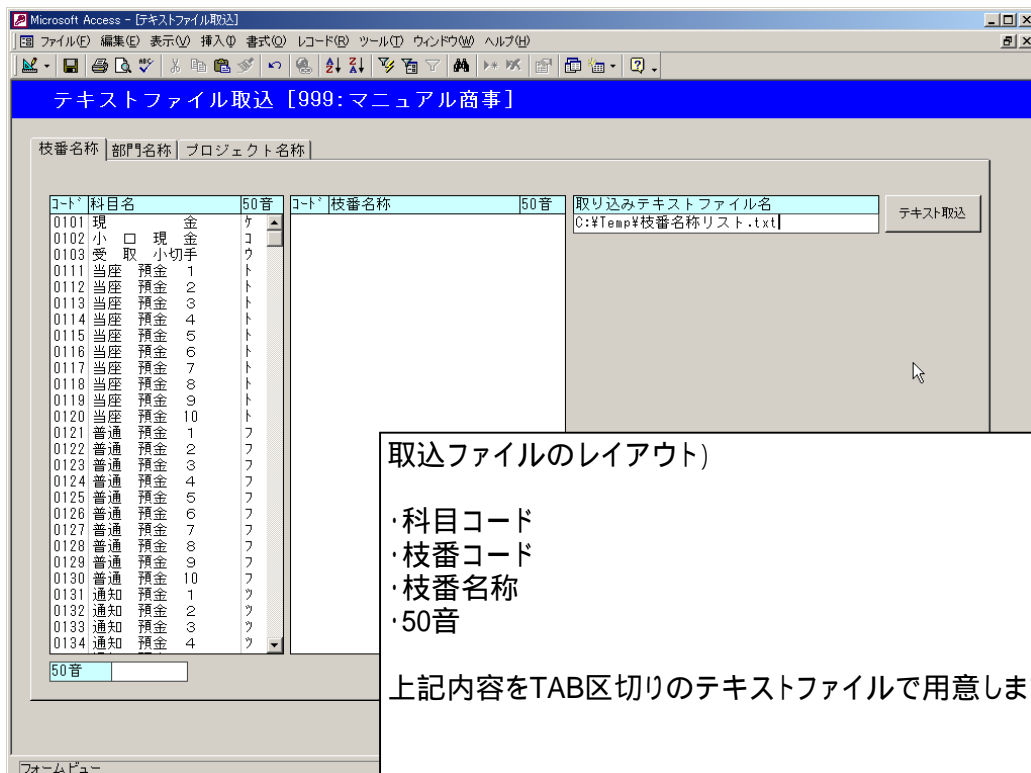
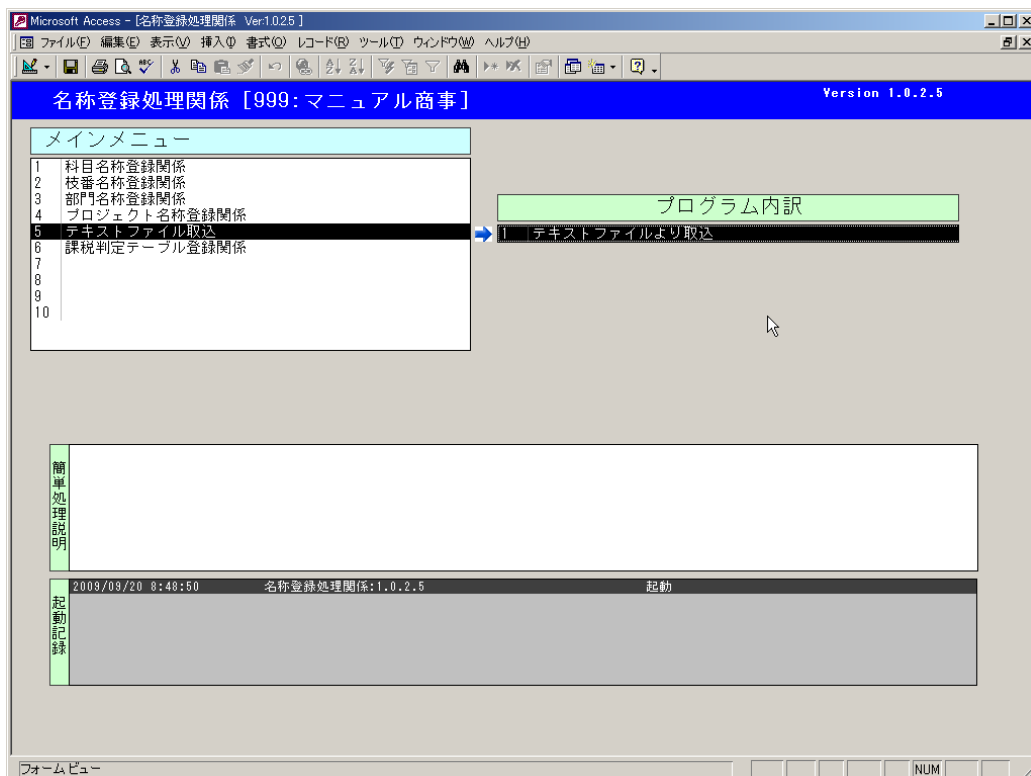


プロジェクト名称CSVファイルが保存されます。

テキストファイル取込

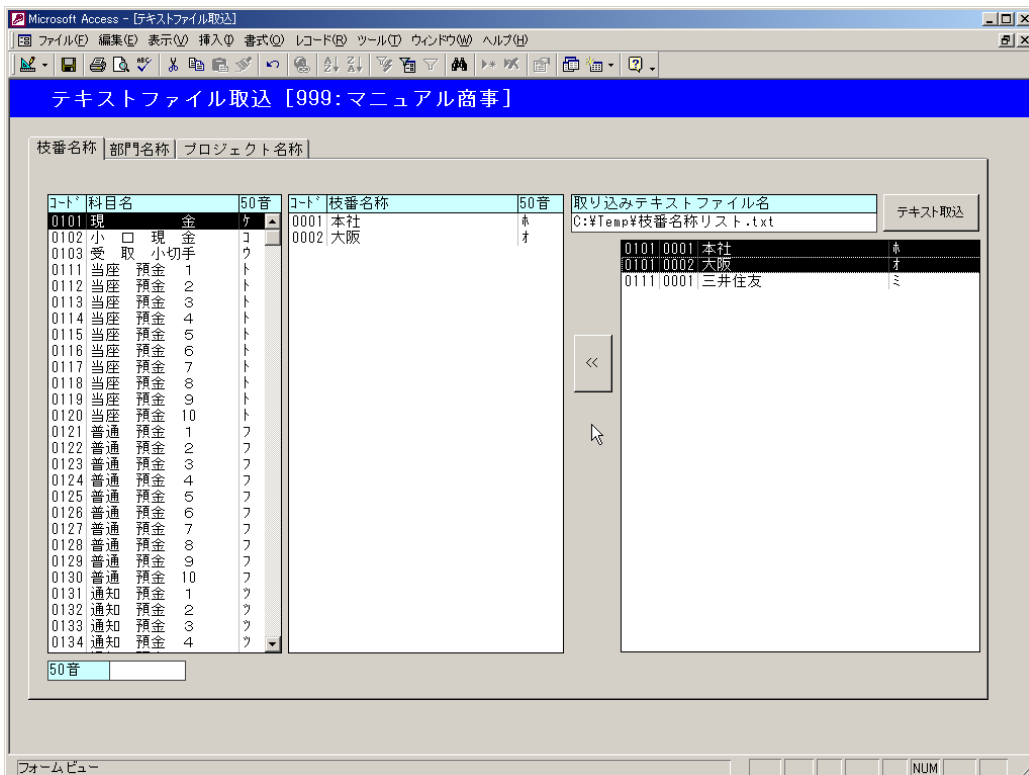
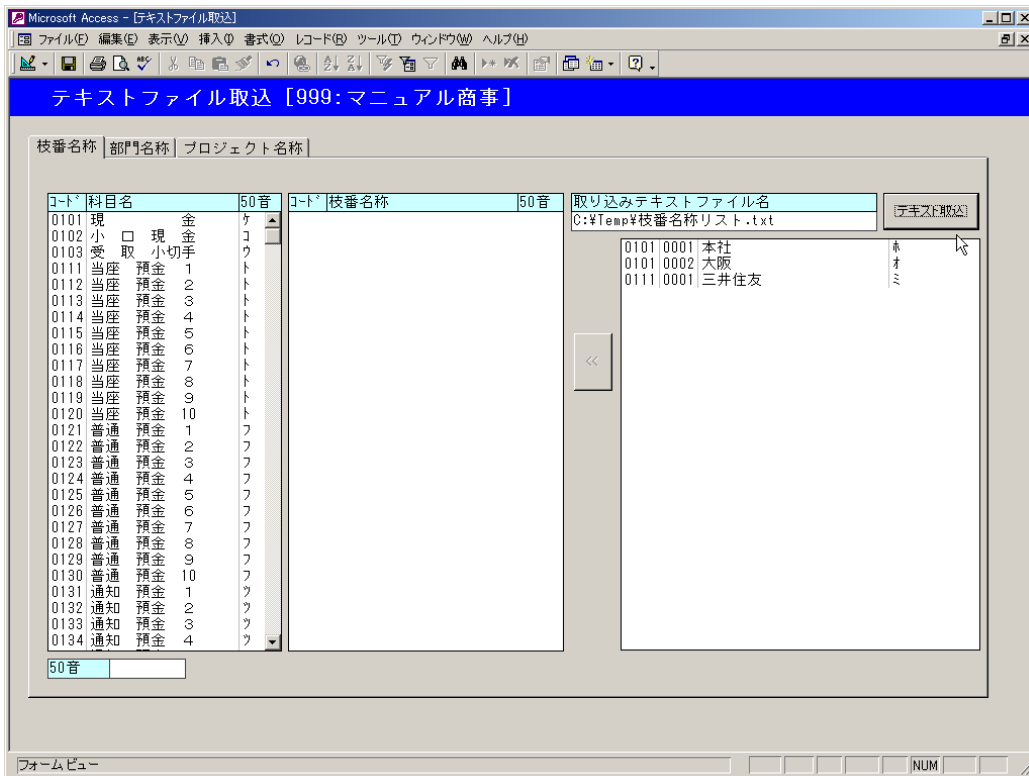
テキストファイル取込は、枝番名称、部門名称、プロジェクト名称の外部ファイルより取込登録を行なう業務です。既存の手入力処理とあわせて利用いただけます。

メインメニュー『5.テキストファイル取込』 『1.テキストファイルより取込』を選択します。



テキスト取込ボタンクリック後

テキストファイル保存されている名称が画面に表示されます。(一旦一時ファイルに取り込まれます)



登録する科目を選択し、今回取り込んだテキストを指定し追加ボタン [<<]をクリックして追加登録します。

テキストファイル取込 [999: マニュアル商事]

枝番名称	部門名称	プロジェクト名称

コード	部門名称	50音	取り込みテキストファイル名
0001	テスト	テ	C:\Temp\部門名称リスト.txt
0002	営業 2 部	テ	
0003	営業 3 部	テ	
0004	営業 4 部	テ	

取込ファイルのレイアウト)

- ・部門コード
- ・部門名称
- ・50音

上記内容をTAB区切りのテキストファイルで用意します。

テキストファイル取込 [999: マニュアル商事]

枝番名称	部門名称	プロジェクト名称

コード	プロジェクト名称	50音	取り込みテキストファイル名
ABC12345	プロジェクト A	ア	C:\Temp\プロジェクト名称リスト.txt
BCD23456	プロジェクト B	ア	

取込ファイルのレイアウト)

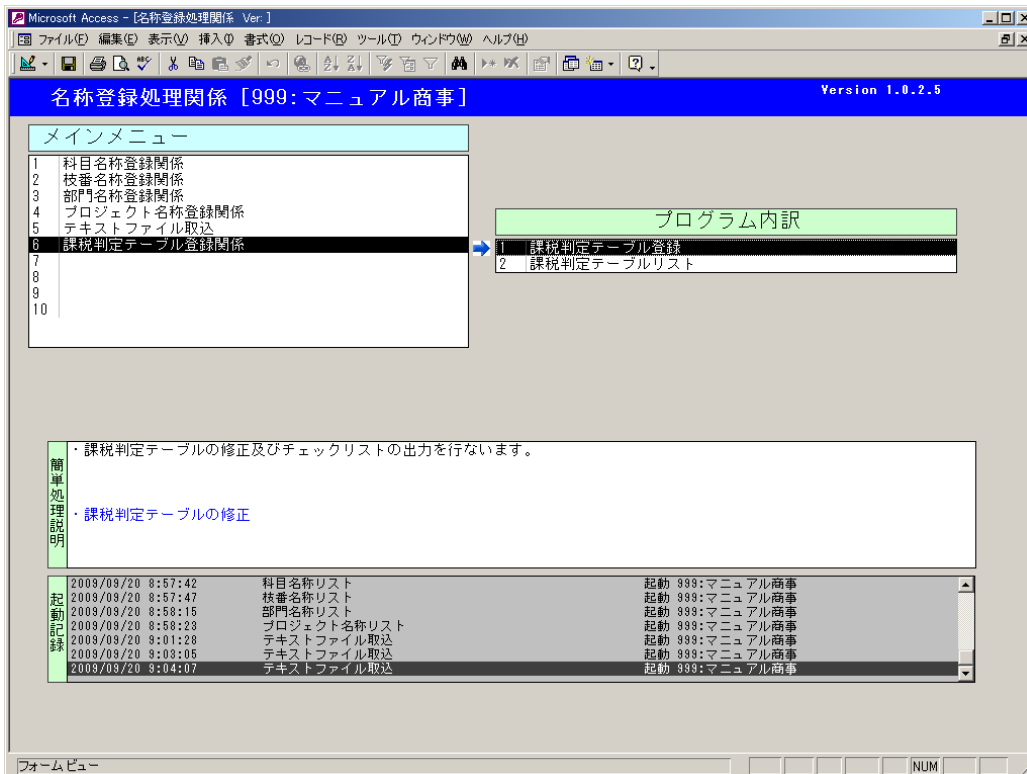
- ・プロジェクトコード
- ・プロジェクト名称
- ・50音

上記内容をTAB区切りのテキストファイルで用意します。

テキスト取込を行なった場合には、それぞれの登録処理(枝番名称登録、部門名称登録、プロジェクト名称登録)で内容を確認して、それぞれのプログラム終了時の参照制約更新を実行してください。

課税判定テーブル登録

メインメニュー『6.課税判定テーブル登録関係』を選択し、『1.課税判定テーブル登録』あるいは『2.課税判定テーブルリスト』を選択してプログラムを実行します。



課税判定テーブル登録関係

科目毎の課税判定の登録及び枝番単位での課税判定テーブル登録処理を行います。既に、消費税処理等行っている科目については、変更を行うとその後の消費税処理に影響が出ますので、変更する場合には弊社インストラクターにご相談下さい。

科目単位の消費税処理の設定、科目枝番単位の消費税処理の設定を行います。

科目枝番の消費税処理は、科目毎の消費税処理より優先されて処理されます。特定の科目枝番に限り、科目で設定している課税判定とは異なる処理を行う場合に設定します。

課税判定テーブル登録画面

Microsoft Access - [課税判定テーブル登録]

課税判定テーブル登録 [999: マニュアル商事]

科目	名称	枝	内外	内税	外税	端数	一括処理	科目区分	対象区分	取引区分	例外区分	個別対応	税扱区分	対価区分
0101	現	金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0102	小口	現	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0103	受取	小切手	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0111	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0112	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0118	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0114	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0115	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0116	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0117	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0118	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0119	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0120	当座	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0121	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0122	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0123	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0124	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0125	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0126	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0127	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0128	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0129	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0130	普通	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0131	通知	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0132	通知	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0133	通知	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無
0134	通知	預金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無

処理モード: 修正

科目	名称	内外	内税	外税	端数	一括	科目	
0101	現	金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他
			対象	取引	例外	個別	税扱	対価
			課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無

更新(U) キャンセル(C)

フォームビュー

修正する科目を一覧より呼び出し、修正を行います。
科目枝番の課税判定の設定を行う場合には、該当科目をダブルクリックして枝番の設定画面を開きます。

Microsoft Access - [課税判定テーブル登録(枝番)]

課税判定テーブル登録(枝番) [999: マニュアル商事]

選択科目の設定値及び一括登録時のデフォルト値

科目	名称	内外	内税	外税	端数	一括	科目	
0101	現	金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他
			対象	取引	例外	個別	税扱	対価
			課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無

枝番 | 内外 | 内税 | 外税 | 端数 | 一括 | 科目

<< 0001 本社
0002 大阪

枝番	名称	内外	内税	外税	端数	一括	科目
		対象	取引	例外	個別	税扱	対価

更新(U) 削除 キャンセル(C)

上段には選択した科目の課税判定情報が表示されます。
新規で枝番課税判定を登録する場合には、枝番一覧より設定する科目を選択し[<<]ボタンで追加します。
追加した場合の課税判定の初期値は、科目で設定されている課税判定内容をコピーして登録します。

課税判定テーブル登録(枝番) [999: マニュアル商事]

選択科目の設定値及び一括登録時のデフォルト値

科目	名称	内外	内税	外税	端数	一括	科目
0101	現 金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他
		対象	取引	例外	個別	税扱	対価
		課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無

枝番	内外	内税	外税	端数	一括処理	科目区分	対象区分	取引区分	例外区分	個別対応
0001	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない

<<

0001	本社
0002	大阪

枝番	名称	内外	内税	外税	端数	一括	科目
		対象	取引	例外	個別	税扱	対価
		課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無

更新(U) 削除 キャンセル(C)

<< ボタンをクリックすると、指定した枝番の課税判定が追加されます。
修正を行う場合には、修正する枝番を選択します。

課税判定テーブル登録(枝番) [999: マニュアル商事]

選択科目の設定値及び一括登録時のデフォルト値

科目	名称	内外	内税	外税	端数	一括	科目
0101	現 金	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他
		対象	取引	例外	個別	税扱	対価
		課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無

枝番	内外	内税	外税	端数	一括処理	科目区分	対象区分	取引区分	例外区分	個別対応
0001	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他	課税対象外	課税取引	通常	固定しない

<<

0001	本社
0002	大阪

枝番	名称	内外	内税	外税	端数	一括	科目
0001	本社	外税入力	透過	透過	切り捨て	しない	その他
		対象	取引	例外	個別	税扱	対価
		課税対象外	課税取引	通常	固定しない	貸借: 仮払	貸借: 無

更新(U) 削除 キャンセル(C)

呼び出した枝番の課税判定情報が画面下部に表示されますので、修正を行い
[更新]ボタンをクリックして保存します。

削除する場合には、[削除]ボタンをクリックして削除処理を実行します。

ICST消費税概要

1. 課税判定テーブルの説明

科目名称・・超財務に設定されている科目コード・科目名称を自動的に転記していきます
設定の際には科目分類順で設定出来ますが一覧表出力の際にはコード順出力となります。

内外区分・・対象科目の仕訳入力の際に税込入力【内税入力】が多いか税抜き入力【外税入力】が多いかによって基本となる入力金額の方法を設定します。
仕訳入力の際にも、仕訳毎に金額の入力区分は変更出来ます。

内税・・・仕訳入力の際に税込金額入力をした場合の初期の処理状態を設定しておきます。
透過・・・入力した時点では消費税処理は行いません。

一括処理を[しない]にしている場合には消費税仕訳を入力する必要があります。

例 旅費交通費 / 現金 ¥420 と入力した場合には
 仮払消費税 / 旅費交通費 ¥20
 と消費税分を対象科目で相殺する形で入力していただく必要があります。

振替・・・仕訳を入力した時点で都度消費税処理を行います。

例 事務用品費 / 未払金 ¥1,050 と入力すると
 仮払消費税 / 事務用品費 ¥50 の仕訳を自動的に生成します。

分離・・・仕訳を入力した時点で都度消費税処理を行います。

例 消耗品費 / 現金 ¥2,100 と入力すると
 消耗品費 / 現金 ¥2,000
 仮払消費税 / 現金 ¥100

の2仕訳に金額が分かれる処理方法になります。

外税・・・仕訳入力の際に税抜き金額入力をした場合の初期処理状態を設定しておきます。

透過：入力した場合には消費税処理は行いませんので
 消費税仕訳の入力を行う必要があります。

生成：仕訳を入力した都度消費税仕訳を生成します。

例 売掛金 / 売上高 ¥10,000 と入力すると
 売掛金 / 仮受消費税 ¥500 の仕訳を自動生成します。

端数処理・・消費税金額の端数処理を行います。
処理方法は 切り上げ、切り捨て、四捨五入からの選択になります。

一括処理・・内税透過で入力された場合に
 消費税に一括振替で振替処理をする期間を指定します。
一括処理の指定は [しない]、[月次一括]のどちらかが選択できるようになっています。
選択画面には『日次』及び『期末』も表示されますが、
超財務は月次マスターの為に実際には日次一括及び期末一括は行っておりません。

科目区分・・消費税分析表上へ出力する際のカテゴリを設定出来るようになってます。

しない・・・消費税分析表上への出力は行いません。

売上・・・消費税分析表で売上分析表の一番はじめのカテゴリ項目に表示されます。

仕入・・・消費税分析表で仕入分析表の一番はじめのカテゴリ項目に表示されます。

経費・・・消費税分析表で仕入分析表の二番目のカテゴリ項目に表示されます。

棚卸資産・・消費税分析表で借方発生は仕入分析表の三番目のカテゴリ項目に表示され、
【対価入力ありの場合は対価が課税対象額になり、消費税売上分析表に表示されます】

貸方発生は消費税分析表で売上分析表の二番目のカテゴリ項目に表示されます。

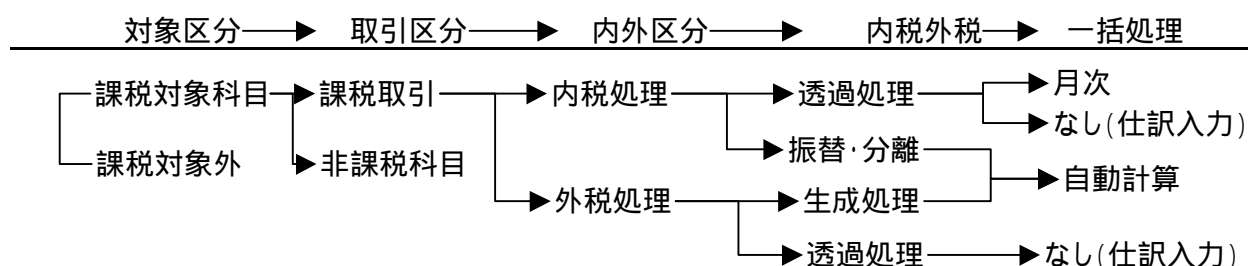
固定資産・・消費税分析表で借方発生は仕入分析表の四番目のカテゴリ項目に表示され、
【対価入力ありの場合は対価が課税対象額になり、消費税売上分析表に表示されます】

貸方発生は消費税分析表で売上分析表の三番目のカテゴリ項目に表示されます。

対象区分・・課税対象科目か課税対象外【不課税】の科目かを設定いたします。

取引区分・・・課税取引か非課税取引かの設定をいたします。
 例外区分・・・税率の設定です。通常は現在5%の通常設定になります。
 個別対応・・・非課税売上が5%以上ある時に、個別対応させるか、
 共通対応【課税売上・非課税売上の比率で按分するか】させるかの設定をします。
 税区分・・・消費税処理科目を設定します。
 設定は 貸借：仮受 貸借：仮払 借：仮受、貸：仮払 借：仮払、貸：仮受
 のどれかになります。
 対価入力・・・売却または除却した際に、売却価格又は除却額を入力します。
 消費税分析表上には入力された対価が課税金額として表示されます。

課税判定テーブルでの優先順位の適用に関して次のようになります。



2. 対価入力に関する注意事項

対価とは・・・棚卸資産及び固定資産等を除却または売却した際に発生しますが、仕訳入力での金額は簿価または償却額を入力しており消費税対象となる売却額や除却額を入力する欄がありません。

その際消費税対象となる売却額や除却額を対価として入力を行なう様に設定しています。

例 建物付属設備【税抜】 簿価¥1,000,000を¥800,000で売却した場合には

諸口 / 建物付属設備	¥1,000,000	【対価¥800,000】	売外税譲渡
諸口 / 仮受消費税	¥40,000		対象外
固定資産売却損 / 諸口	¥200,000		対象外
未収入金 / 諸口	¥800,000		対象外

と入力します。

科目分類が棚卸資産及び固定資産の場合には消費税分析表上では、借方発生は仕入分析表に、貸方発生【対価入力の際】は売上分析表に表示されます。

棚卸資産と期首棚卸及び期末棚卸との振替仕訳を起票する場合は

仕訳自体は対象外に設定して下さい。

課税区分は棚卸資産も期首棚卸・期末棚卸とも課税対象科目と登録しておきます。

3. 消費税仕訳での注意事項

内税仕訳の場合に課税区分表示がされますが、消費税一括振替対象及び消費税都度振替の仕訳の場合、課税区分は 売【課対】内税振済 の課税区分がつき、振替えられた消費税仕訳の方には 売【課対】内税振替 の課税区分がつきます。

消費税設定が 内税の透過処理で一括振替処理をしないにしている場合ですと、本体仕訳は 売【課対】内税 となりますが、消費税の仕訳を入力した時点で 対象外になってしまいますので、データ本修正で課税区分を変更する必要があります。

例 旅費交通費 / 現金	¥1,050	課対内税	
仮払消費税 / 旅費交通費	¥50	対象外	となりますので

データ本修正を使用して

仮払消費税 / 旅費交通費	¥50	対象外	課対内税振替
---------------	-----	-----	--------

に税区分を変更して下さい。

4. 消費税分析表上への金額表示に関して

課税対象に計上される金額に関しては

売上分析表 売外税 + 売内税 + 売内税振済 - 売内税振替

注 車輛の売課税区分も同様に含まれます。

仕入分析表

売外税譲渡 + 売内税譲渡 + 売内税譲渡振済 + 課対外税

+ 課対内税 + 課対内税振済 - 課対内税振替 - 売内税譲渡振替

注 車輛及び共通対応課税に関しても同様に含まれます。

消費税額に計上される金額に関しては

売上分析表 売外税 × 5 % + 売内税振替【車輛】

仕入分析表 (売外税譲渡 + 課対外税) × 5 % + 課対内税振替【車輛】 + 売内税譲渡振替

免税取引に計上される金額に関しては

売上分析表 売輸出取引

仕入分析表 なし

非課税に計上される金額に関しては

売上分析表・仕入分析表とも 非課税の金額が表示されます。

対象外に計上される金額に関しては

売上分析表・仕入分析表とも対象外が表示されます。

5. 課税区分の確認方法に関しては消費税マスターの方で変更が出来ます。

選択区分・・・データ本修正等を行う時に表示される名称です。

この説明では選択名称を使用して区分説明を行っております。

区分・・・・データ入力時の区分の表示や帳票関係の時の区分表示に使用しております。
内税処理の場合には内税・内税振替・内税振済もすべて内税と表示されてしまいますので、
簡単に見分けたい時には区分の名称を変更するのみの方法です。

対応に関しては

T・・・課税売上対応仕入

N・・・非課税売上対応仕入

C・・・【課税・非課税】共通売上対応仕入
を表示しています。

